

学び

子育て

スポーツ

高齢者

くらし

相談

健康

ごみ

もっと知ろう
もっと学ぼう 郷土のこと!!

物知りおじさんの ふるさと情報



耳より

今月の物知りおじさん
みやけ かつよし
三宅 勝義さん
64歳(東野)
県歴史資料保存協会会員

一片の土器が 教えてくれたこと










東野の耕地整理の折に縄文時代の遺跡が発見されました。発見されたところの地名にちなんで、染戸遺跡と呼ばれています。平成元年5月から8月にかけて、発掘調査が行われました。その結果、いくつかの住居跡(竪穴住居)が発見されました。住居の中の造りは、中央に炉があり、その周りに居住スペースがある質素なものでした。普通その当時の炉は石で囲って作ってあるものですが、染戸遺跡の炉には深鉢が使用されていました。炉に使われた深鉢には東日本系の特徴をもつものと、西日本系の特徴をもつものが使用されていました。特徴の違いは土器の表面にある文様にあります。写真右側の縄文土器は、東日本系の土器で縄文前期末頃のものと思われまます。花のように開いた口縁とくびれた頸の部分、そして膨らんだような胴部になっています。土器の表面には縄文を地として細い粘土ひもを波のように、あるいは縦に貼り付け粘土ひもを細く刻んでいます。大変派手な文様となっています。写真左の西日本系の土器ですが、時期は東日本系の土器とほぼ同じ頃です。文様や器形は単純で、円筒形の胴部に帯のように縄文を何段も描きその間に粘土ひもを貼り付けています。この2種類の文様を持つ深鉢が住居跡の炉として、一緒に使われていたのです。このことは、当地で西の文化と東の文化が同時に共存していたことを意味していて、当地が東西の文化の交流点であったということを示しています。郷土恵那の文化は決して単独で発展したのではなく、太古の縄文の昔より、東日本や西日本など、驚くほど広範囲の人々と交流して発展してきたことが分かります。




▲西日本系の土器



▲東日本系の土器

開催日	内容
3月16日(金)	
17日(土)	修理本ボランティア活動日 読み聞かせ講習会(午前10時半)  おひなさまみーせて(午後1時) きびだんごひとつ私にください な(午後2時)
18日(日)	8時間耐久おはなし会(午前10時) ミニ茶会(午後2時)
19日(月)	休館日
20日(火)	おはなし会(午前10時半) 
21日(水)祝	
22日(木)	休館日
23日(金)	古文書勉強会 (午前10時15分)
24日(土)	修理本ボランティア活動日 読み聞かせ講習会(午前10時半)  おはなし会(午後2時)
25日(日)	
26日(月)	休館日
27日(火)	おはなし会(午前10時半) 
28日(水)	
29日(木)	休館日(図書整理日)
30日(金)	
31日(土)	修理本ボランティア活動日 読み聞かせ講習会(午前10時半)  おはなし会(午後2時)
4月1日(日)	
2日(月)	休館日
3日(火)	おはなし会(午前10時半) 
4日(水)	
5日(木)	
6日(金)	
7日(土)	おはなし会(午後1時半) 
8日(日)	
9日(月)	休館日
10日(火)	おはなし会(午前10時半) 
11日(水)	
12日(木)	修理本ボランティア活動日
13日(金)	
14日(土)	修理本ボランティア活動日 おはなし会(午前11時) 
15日(日)	

 : こどもたいむ実施日

学び

佐藤一斎の
三学の精神



伊藤文庫
図書館
TEL 2515120

案内

こどもえなどバック

えなど(恵那市中央図書館の略)の司書が薦めの本を、題名や作者も隠して小包にしました。新しい本との出会いを詰め込んでお届けします。
今回は「こどもの読書週間」(4月23日~5月12日)に合わせて、子ども向けのえなどバックを開催します。
日時 4月22日(日)~5月19日(土)
ところ 展示コーナー
数量 50包み(先着順)
※えなどバックは1人1包みまで



▲新しくなった読書手帳

読書手帳(子ども用、大人用)をリニューアルしました。手帳1冊につき借りた本を50冊記録できます。50冊記録した方は「利用者のオスメコーナー」に本の紹介を投稿することが出来ます。本をたくさん読んで、本をたくさん紹介してみませんか。

「えなどだより」を発行

4月1日から中央図書館の情報が満載の「えなどだより」を発行します。新刊情報やイベント情報などを詳しくお知らせします。中央図書館のほか、市内各施設などに設置します。ぜひご覧ください。

読書手帳をリニューアル

新しく入った本ピックアップ

(2月2日~2月25日に受け入れた新刊は187冊)



パパ入門ガイド 家族を笑顔にする プレパパ~3歳児パパ

ファザーリング・ジャパン/
著 池田書店

家族を笑顔にするパパになるための育児書。これからパパになる人や、3歳くらいまでの子どもがいるパパに、子育ての知識やスキル、産後不安定なママとのコミュニケーションのとり方、家庭と仕事を両立させるコツなどを紹介。

- 一般書
 - ▶シャーデンフロイデ 人の不幸を喜ぶ私たちの闇(リチャード・H. スミス/著、澤田匡人/訳、勁草書房)
 - ▶THE ISLAND 軍艦島(佐藤健寿/著、朝日新聞出版)
 - ▶アマゾン料理人 世界一の「美味しい」を探して僕が行き着いた場所(太田哲雄/著、講談社)
- 絵本
 - ▶いっしょにねんね(たちばなれんじ/著、河出書房新社)
 - ▶密林一きれいなひょうの話(工藤直子/おはなし、和田誠/え、瑞雲舎)
 - ▶ラッコのたんじょうびケーキ(公文健太郎/写真、高岡昌江/文、篠本映/絵、ほるぷ出版)
- 児童書
 - ▶クレヨンで描いたおいしい魚図鑑(加藤休三/著、晶文社)
 - ▶おもしろい!楽しい!うれしい!手紙① ゆうびん・手紙のひみつをたんけん!(スギヤマカナヨ/著、偕成社)
 - ▶子ぶたのトリュフ(ヘレン・ピーターズ/文、エリー・スノードン/絵、もりうちすみこ/訳、さ・え・ら書房)

市中央図書館ウェブサイトから
全ての最新刊がチェックできます

おはなし会の時間変更

4月からおはなし会の開催時間を変更します。おはなし会に合わせて、児童室周辺で音楽を流す「こどもたいむ」は引き続き行います。

曜日	火曜日	第1・3 土曜日	第2・4 土曜日
時間	午前10時半 ~11時	午後1時半 ~2時	午前11時 ~11時半
対象	0~3歳	小学校 低学年	3~5歳
内容	手遊びや歌などを交えて、親子で楽しむおはなし会。	小学生を対象に、大型絵本や紙芝居、工作など、毎回テーマを変えながら行います。	未就学児を対象に、本の楽しさを伝えることをテーマに楽しいお話をします。

「こどもたいむ」はおはなし会開催時間の、30分前から30分後まで。

2月の来館者数 22,290人 (前年同月18,618人)
2月の貸出冊数 22,600冊 (前年同月22,381冊)